



① サブスクリプションとは何ですか。

Red Hat Enterprise Linux を利用するための技術サポートやバグ修正/アップデートの入手やハードウェアのソフトウェア認定などを含むサポートサービスを受ける権利です。Red Hat Enterprise Linux では、お客様に対しシステムごとに 1 年または複数年のサブスクリプション契約によって以下が総合的に提供されます。

【製品へのアクセス】 Red Hat Enterprise Linux ソフトウェアのバイナリーコード、ソースコード、およびドキュメントの入手

【ハードウェアとソフトウェアの認定】 Red Hat Enterprise Linux でサポートされる数多くのハードウェアと ISV アプリケーションソフトウェアの認定

【ソフトウェアのアップデート】 ソフトウェアの機能拡張や新しいハードウェアの対応のためのソフトウェア更新

【バグ修正とセキュリティ Errata】

【新バージョンへのアップグレード】 サブスクリプションの有効期間中にリリースされる Red Hat Enterprise Linux の新バージョンへの移行

【柔軟性】 Red Hat Enterprise Linux の任意のバージョンをご利用いただけます。サブスクリプションのサービスはバージョンを問いません。さらに、メインフレームシステムを除いて、サブスクリプションはアーキテクチャを問いません。そのため、サブスクリプションは、いつでもアーキテクチャ間で、また 32 ビットシステムから 64 ビットシステムへ移行できます。

【Red Hat Network(RHN)】 Red Hat Network によって自動化されたソフトウェア配布およびアップデート機能を利用できます。Red Hat Network のオプションモジュールを追加すれば、システム監視や導入・ソフトウェア配布、ソフトウェア構成管理など、そしてシステム管理機能を強化できます。

【技術サポート】 問い合わせ数が無制限の技術サポートサービスで、クリティカルなシステムには 365 日 24 時間の受付で 1 時間以内の応答が可能なサービスも提供可能です。

【長期的な安定性】 各 Red Hat Enterprise Linux リリースについて、ユーザモードおよびプライマリカーネルモードのアプリケーションインタフェースにより、製品寿命の間、安定性が維持されます。製品のアップデートや機能拡張によってアプリケーションの動作が影響を受けないう保護します。

【法的な保証】 RedHat のオープンソース保証プログラムにより、オープンソースソリューションを導入、開発されるお客様を法的な不利益から保護します。

② Red Hat Enterprise Linux を利用したいのですが無償で利用できますか？

いいえ。Red Hat Enterprise Linux は GPL(General Public License)を中心とするライセンスで提供されるオープンソースソフトウェアなので、購入においてライセンス費用はかかりませんが、ソフトウェアを入手頂くためには有償のサブスクリプション契約によるサポートサービスを購入して頂く必要があります。

サブスクリプションは1年または複数年の契約になり、Red Hat Enterprise Linux を利用するサーバやデスクトップPCの台数と同じ数のサブスクリプションサービスが必要です。

③ サブスクリプションの更新をしなくてもソフトウェアを使用し続けることはできますか？

Red Hat エンタープライズ契約の下では、サブスクリプションを1本でもお持ちのユーザは、当該サブスクリプションの対象となっているソフトウェアがインストールもしくは使用されているシステム全てについて、サブスクリプションを購入しなければならないことになっております。お客様は Red Hat のソフトウェアをオープンソース・ライセンス（例えば、GPL: General Public License）に基づいて、使用し続けることができます。しかしながら、お客様が社内にて有効なサブスクリプションを保有されている期間中は、Red Hat エンタープライズ契約の定めがお客様に適用されます。

お客様が有効なサブスクリプションを1本でもお持ちではない場合はこの定めはお客様に適用されず、ソフトウェアを使用し続けることができますが、その場合お客様はサブスクリプションに基づき提供される特典・恩恵を受けることはできなくなります。

④ Red Hat Enterprise Linux をサブスクリプション契約のないシステムで利用できますか？ソフトウェアを複製して配布することはできますか？

いいえ。契約上では、「お客様が Subscription Service を購入したユニット（システム）のためにのみ使用することができる。」となっており、サブスクリプション契約のないシステムでの「製品へのアクセス」や「ソフトウェアのアップデート」や「技術サポート」などは、サブスクリプションサービスの無断使用（契約違反）となってしまいます。また購入したサブスクリプション契約数を越える数のソフトウェアの利用や契約のないシステムに対する複製・配布はできません。

契約内容に関しては、以下のページの「RED HAT エンタープライズ契約（PDF）」をご参照ください。

http://jp.redhat.com/promo/buy/Enterprise_Agr_Japan.pdf

⑤ サブスクリプション契約終了後に Red Hat Enterprise Linux のソフトウェアを複製・配布して利用することはできますか？

サブスクリプション契約終了後は EULA（End User License Agreement）の使用条件を遵守いただく必要がありますが、EULA においては、GPL に従って、ソフトウェアの実行、複製、修正、再頒布が認められるものの、「Red Hat」の商標と「Shadowman」のロゴを使っているプログラムやコンポーネントの複製や配布を

認めておりません。「Red Hat」の商標と「Shadowman」のロゴを使っているプログラムやコンポーネントの複製・配布を行う場合は、Red Hat と契約を締結するか、または「Red Hat」の商標と「Shadowman」のロゴを含むあらゆるイメージファイルを消去、取り替える必要があります。なお、これらのファイルを削除すると、プログラムが正常に動作しない場合があります。EULA (End User License Agreement) は以下の URL にてご参照ください。

http://www.jp.redhat.com/licenses/RHEL_EULA_JAPAN.pdf

⑥ Red Hat Enterprise Linux を改変した場合にサポート対象になりますか？

改変されたソフトウェアパッケージ (RPM) はレッドハットのサポート対象になりません。ソースコードを公開しているオープンソース製品なのでソフトウェアの改変は可能ですが、契約上レッドハットはお客様が改変または変更したソフトウェアへのサービス提供をお断りすることができます。

⑦ バージョンアップに費用はかかりますか？また旧バージョンを利用することはできますか？

サブスクリプションを購入していただいているユーザ様は無償で最新の Red Hat Enterprise Linux にバージョンアップしてご利用いただくことができます。またサブスクリプションでは任意のバージョンをご利用いただけますので、サポートが終了していない任意の旧バージョンの Red Hat Enterprise Linux をご利用いただくことができます。

⑧ Red Hat Enterprise Linux のサポート内容について教えてください。

下記 URL をご覧ください。

<http://access.redhat.com/support/>

⑨ Red Hat Enterprise Linux のサポート期間とライフサイクルについて教えてください

下記 URL をご覧ください。

<https://access.redhat.com/support/policy/updates/errata/>

⑩ 製品とサブスクリプションにはどのような種類がありますか？

利用するシステムの種類 (CPU ソケット数、仮想化ゲスト数など) やサポートの種類によって、Red Hat Enterprise Linux Server のサブスクリプションが異なります。また zSeries/ System z に対応します。

デスクトップ用途向けには、汎用的なデスクトップアプリケーションの利用に適した「Red Hat Enterprise Linux Desktop」と「Red Hat Enterprise Linux Workstation」があります。

また、サポート契約期間によって 1 年間のサブスクリプションと 3 年間のサブスクリプションがあります。3 年間以上のサブスクリプションに関してはレッドハットまたはパートナー各社にお問い合わせください。

⑪ サブスクリプションのカウント方法はどのようになっていますか？

基本的に1台のハードウェアにつき1サブスクリプションが必要です。また、CPUソケット数や仮想化ゲスト数などにより必要なサブスクリプションが異なります。詳細は、レッドハットまたはパートナー各社にお問い合わせください。

⑫ デスクトップ製品をサーバ用途に使用できますか？

いいえ。デスクトップ製品は、オフィスアプリケーションや Web ブラウザ、メールなどの個人向けアプリケーション、あるいは CAD などのワークステーションの用途での利用を目的としています。

「Red Hat Enterprise Linux Workstation」では、サーバアプリケーションのテストと開発の用途でデータ共有のために限定してサーバアプリケーション利用が可能です。

⑬ コールドスタンバイのサーバにサブスクリプションを購入する必要がありますか？

いいえ。ソフトウェアが稼動していないコールドスタンバイのサーバはサブスクリプションの数としてカウントしません。災害/障害発生時に備えて導入/設定を行っていても、稼動させていないサーバはサブスクリプションの数としてカウントしません。一方で、自動的なフェールオーバーを行う HA クラスタシステムの大気系システムはシステムが稼動しているためコールドスタンバイとみなさずサブスクリプションの数としてカウントします。例えばクラスタ構成の2台のサーバには2つのサブスクリプションが必要です。

⑭ 障害や災害が発生した際のバックアップのサーバや、システムの更改にともなうサーバ機種変更などでサブスクリプションを際購入する必要がありますか？

いいえ。通常はソフトウェアが稼動していない（コールド状態）サーバで、障害時や災害時にソフトウェアを稼動させる場合、ソケット数が同じであればサブスクリプションを再購入する必要はありません。サーバ機種を変更する場合もソケット数が同じであればサブスクリプションを再購入する必要はありません。